

=====

◇植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン vol.170◇

2024年9月13日号(第170号)

-----◇◆ INDEX ◆◇-----

1. 令和7年度アライアンス・プラチナ枠による共同研究課題募集のお知らせ
2. 国際フォーラム「若手研究者による植物ストレス科学国際フォーラム IPSR 2024: IPSR International Forum 2024 on Plant Stress Sciences by/for Junior Scientists」開催のお知らせ
3. 岡山大学資源植物科学研究所助教公募のお知らせ
4. 大学院進学説明会（オンライン開催）のお知らせ
5. 最近の研究成果について
6. 投稿のお願い
7. 編集後記

-----◆◆◆◇-----

1. 令和7年度アライアンス・プラチナ枠による共同研究課題募集のお知らせ

植物研究拠点アライアンス (Plant Science Core Alliance; PSCA)

は、文部科学省認定の共同利用・共同研究拠点のうち、主として植物の研究を実施する拠点が連携し、植物研究を強化するために設置された拠点連合です。PSCAに参加する下記の拠点が、新たな取り組みとして「アライアンス・プラチナ枠」による共同研究を公募します。

- ・筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター「形質転換植物デザイン研究拠点」
- ・大阪公立大学附属植物園「過去に学び未来を拓く植物多様性保全研究・教育拠点」
- ・鳥取大学乾燥地研究センター「乾燥地科学拠点」
- ・岡山大学資源植物科学研究所「植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点」
- ・琉球大学熱帯生物圏研究センター「熱帯生物圏における先端的環境生命科学共同研究拠点」

「アライアンス・プラチナ枠」は、申請者が2拠点以上の対応教員とチームを組み、それらの拠点の特長を生かして、設置された施設・設備を利用して行う共同研究です。

申請書の提出先は主に利用する拠点（窓口機関）となります。各拠点の公募要項など、詳細については以下のウェブページをご確認ください。

<https://psca-jurc.com/news/news-detail.php?id=45>

## 2. 国際フォーラム「若手研究者による植物ストレス科学国際フォーラム IPSR 2024: IPSR International Forum 2024 on Plant Stress Sciences by/for Junior Scientists」開催のお知らせ

岡山大学資源植物科学研究所では、下記の通りハイブリッド形式による国際フォーラムを開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日時：2023年12月6日（金）13:00～（開始時間は変更になる可能性があります。）

開催形式：対面+オンラインのハイブリッド形式（リンクは後日登録者にお知らせします。）

開催場所：〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-20-1

岡山大学 資源植物科学研究所

発表言語：英語

参加費：無料（要参加登録）

参加登録：下記のリンクより参加登録を行ってください。

<https://forms.office.com/r/Yq3qG1XAQf>

参加登録締め切り：2024年11月8日（金）

また発表者の募集もおこなっております。一般講演者の持ち時間は、質疑応答含めて20分です。募集演題数は10程度を予定しており、発表者には当研究所の規程に沿って往復旅費の補助をおこないません。締め切りが来週となっております。若手研究者（学生、博士研究員、ジュニア教員）の皆様からの積極的な応募をお待ちしております。

講演要旨締め切り：2024年9月20日（金）（上記の参加登録フォームから入力してください。200 words 以内）

演題確定・通知：2024年10月20日（日）

プログラムの詳細・要旨の雛形等については

<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/forum/2024/>

をご参照ください。

お問い合わせ先（E-mail）：[ipsr-iforum@okayama-u.ac.jp](mailto:ipsr-iforum@okayama-u.ac.jp)

## 3. 岡山大学資源植物科学研究所助教公募のお知らせ

岡山大学資源植物科学研究所の大麦・野生植物資源研究センター、遺伝資源ユニット、ゲノム多様性グループでは、テニュアトラック助教1名を、国際公募として募集しております。当研究所が保有するオオムギ遺伝資源を活用した研究を推進できる方を希望します。

多数のご応募をお待ちしております。

締め切りは令和6年9月20日（金）です。

募集の詳細については、以下のウェブページをご覧ください。

<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/recruit/20240703-post/>

#### 4. 大学院進学説明会（オンライン開催）のお知らせ

岡山大学資源植物科学研究所では、大学院進学を検討されている皆様を対象に、オンライン大学院説明会を開催します。受験を考えている方も迷っている方も気軽にご参加ください。

参加を希望される方には事前申し込みをお願いしております。  
申し込み締め切りは、10月18日（金）です。

#### 【日時】

2024年10月25日（金） 13:00～17:00頃

2024年10月28日（月） 13:00～17:00頃

詳細および申し込みは以下のウェブページをご確認ください。

[https://www.rib.okayama-u.ac.jp/grdsh/Daigakuin\\_J/setsumeikai.html](https://www.rib.okayama-u.ac.jp/grdsh/Daigakuin_J/setsumeikai.html)

#### 5. 最近の研究成果について

Che, J., Yamaji, N., Wang, S.F., Xia, Y., Yang, S.Y., Su, Y.H., Shen, R.F., Ma, J.F.

OsHAK4 functions in retrieving sodium from the phloem at the reproductive stage of rice.

The Plant journal : for cell and molecular biology, 10.1111/tpj.16971 (2024)

Doi.org/10.1111/tpj.16971

Sa'diyah, W., Zhao, Y., Chiba, Y., Kondo, H., Suzuki, N., Ban, S., Yaguchi, T., Urayama, S., Hagiwara, D.

New lineages of RNA viruses from clinical isolates of *Rhizopus microsporus* revealed by fragmented and primer-ligated dsRNA sequencing (FLDS) analysis.

mSphere, e0034524 (2024)

Doi.org/10.1128/msphere.00345-24

Hippler, M., Khosravitarbar, F.

Light-Driven H<sub>2</sub> Production in *Chlamydomonas reinhardtii*: Lessons from Engineering of Photosynthesis.

Plants (Basel, Switzerland), 13(15):10.3390/plants13152114 (2024)

Doi.org/10.3390/plants13152114

Sumi, M.J., Zaman, S.B., Imran, S., Sarker, P., Rhaman, M.S., Gaber, A., Skalicky, M., Moulick, D., Hossain, A.

An investigation of the pigments, antioxidants and free radical scavenging potential of twenty medicinal weeds found in the southern part of Bangladesh.

PeerJ, 12:e17698 (2024)

Doi.org/10.7717/peerj.17698

Mizuno, T., Kondo, D., Kasai, H., Yamashita, J., Ito, T., Murai, Y., Van der Ent, A., Hashimoto, A., Watanabe, T.

Effects of soil and phylogeny on sulfur and phosphorus concentrations in wild plants on volcanic and non-volcanic soils in Japan.

Soil Science and Plant Nutrition, 1-11 (2024)

Doi.org/10.1080/00380768.2024.2381636

## 6. 投稿のお願い

本メールマガジンやWeb サイトでは、植物ストレス科学の研究成果や研究に関する情報の共有を目指しています。

(<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>)

PSSNet メンバーの皆様の最新の論文、関連集会やセミナーの案内、人材募集などの共有可能な情報の投稿をお待ちしております。

ご希望の方は、[pssnet-admin@okayama-u.ac.jp](mailto:pssnet-admin@okayama-u.ac.jp) 宛に情報をお送りください。

また、メーリングリストへの情報提供も随時受け付けております。

セミナーや講演会の開催など、お急ぎの情報は

[pssnetml@okayama-u.ac.jp](mailto:pssnetml@okayama-u.ac.jp) 宛てにお送り下さい。

\*お送り頂く際には、PSSNet に登録しているメールアドレスからお願い致します。

## 7. 編集後記

9月に入って朝晩の暑さは少しましになりましたが、日中はまだ暑い日が続きますね。今年も全国的に暑さが厳しかったようです。近年は毎年同じことを言っていますね。当研究所がある岡山県でも、県内の猛暑日の連続記録が更新されたそうです。毎日のように熱中症警戒アラートが出ていた気がします。日本の平均気温ですが、7月は過去最高を更新、8月も昨年に次いで2番目に暑かったそうです。そのため、今年の夏の日本の平均気温は平年と比べて1.76度高くなり、気象庁が1898年に統計を取り始めて以来、昨年と並んで最も暑い夏となったということでした。7月には、世界全体の一日の平均気温も過去最高を記録した、というニュースもありました。地球温暖化が進んでいることは間違いなさそうですね。

猛暑と言えば、昨年は猛暑・渇水の影響で、コメどころの新潟県でコメの収穫量が減少したそうです。さらに品質も低下し、市場に出回るコメの量も減少したとのこと。それだけが原因ではないそうですが、現在、全国的にコメ不足が問題になっていますね。今年の夏は、「暑いですね。」の次の話題が、「お米が無いですね。」でした。今でも「スーパーからお米が買えない」とニュースでこの話題が連日のように取り上げられていますね。ただ、既に新米の収穫も始まっており、コメ不足も徐々に解消されるようです。ニュースを見て知ったのですが、新潟県では、県の代表するブランド米であるコシヒカリが暑さに弱いため、最近では暑さに強い高温耐性品種への作付け転換が一部起こっているそうです。さらに、高温耐性を持つコシヒカリの開発も進んでいるようです。お米に限ったことではなく、様々な農作物や海産物が地球温暖化を含めた気候変動に影響を受けていますね。

気候変動に関連して、8月末には台風10号が上陸しました。“迷走台風”と呼ばれ、進路の定まらない台風が日本各地が振り回されましたね。台風から離れた地域でも大雨による被害が相次ぎ、東海道新幹線も何日も運休になりました。予定変更を余儀なくされた方も多かったのではないのでしょうか？ 台風も温暖化によって発生数、威力ともに上昇しているそうです。7月から続いた猛暑日が途切れ

たかと思ったら、予報が更新される度に変化があって、動きの読めない台風上陸。気候変動を強く感じ、不安を感じた夏となりました。台風シーズンは10月まで続きます。これ以上大きな台風が来ないことを祈るばかりです。

\*\*\*\*\*

「植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン」

■発行日 2024年9月13日

■発行元 岡山大学資源植物科学研究所

植物ストレス科学研究ネットワーク (PSSNet) 委員会

■WEB サイト <http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>

メールマガジン登録変更・解除の手続きは

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/Registermember.htm>

をお願いします。

\*\*\*\*\*

(このメールは岡山大学職員が配信しています)

---

pssnetml mailing list

[pssnetml@okayama-u.ac.jp](mailto:pssnetml@okayama-u.ac.jp)